



笑顔いっぱい

長子配布
令和2年7月号

武雄市立武雄小学校 情報新聞

校長だより

文責 竹内智道

【学校教育目標】

自ら考え、正しく判断し、やり抜く、人間性豊かな児童の育成

【児童の合い言葉】

ふわふわことばと思いやり みんな にこにこ たけおっ子

たけおっ子の頑張りといいさつ運動

暑い毎日が続きます。たけおっ子、暑さに負けず、それぞれの学年で頑張っています。

毎朝登校した後に1年生は、アサガオに、2年生は、ミニトマトに水やりをしています。とても大きくなってきました。2年生のミニトマトは、もう収穫ができるものがたくさんあり、真っ赤になったミニトマトをお土産に持って帰ったら、おうちの人がおいしいと言ってくれてうれしかったとニコニコ笑顔で話してくれました。



【アサガオとミニトマト】

3年生は、4月から社会科が新しく始まりました。まずは、身近な学校の周り、武雄町、武雄市と範囲を広げて学習していきます。その学習の中で武雄市の魅力を伝えるマップ作りを行いました。武雄温泉駅の改札を通ったところの壁に掲示してあります。武雄市を訪れた方に見てもらいたいと思います。学習したことの発表の場ができてよかったです。

4年生、5年生、6年生は、学校全体のことを考えた取り組みを行ってくれています。現在学校では、「気持ちの良い挨拶をしよう」と取り組みを行っています。今年度の学校目標の中の基本的な生活習慣の一つだとも考えています。4年生は、朝、運動場で元気よく遊ぶ姿が見られます。先日、友達同士で「おはよう」と互いに声をかけていました。4月から見えています。運動場でのあいさつのやり取りは初めてでした。自然とお互い笑顔になっているのが印象的でした。友達同士でのあいさつ、率先して取り組んでくれています。



【武雄温泉駅内：3年生成成の武雄市みりよくマップ】

5、6年生は、朝のあいさつ運動委員会を中心に取り組んでくれています。また学年全体で話し合っ、あいさつでニコニコ笑顔の武雄小学校にしようと考えてもくれています。

あいさつは、周りを明るくし、自分の気持ちもなんとなくいい感じにしてくれるものだと思います。また、場の雰囲気を作ることができる魔法の言葉です。今後、子供たちが成長し、社会人になった時に自然にできるよう身につけさせたいと思います。ご家庭でもあいさつ運動に取り組んでみてはいかがでしょうか。

マスクの着用について

コロナウイルス感染症対策で、マスクの着用をお願いしていますが、気温の高い日が続く、マスクをしての登下校や運動で体温が上昇し、熱中症の心配をしなければいけない状況です。

登下校については、マスクをつけなくてもよいこと、その際、友達との間隔をとって登校するよう話をしています。また、運動中や昼休みの外遊びの時もマスクを外すようにしています。

これからますます暑くなりますので、マスクの着用については、熱中症にならないようにしながらコロナウイルス感染症対策も行っていくという対応を続けていきます。